



NAGASE

地域と企業のマッチングしたSDGs経営



ICT施工 中部縦貫自動車道



久々野保育園現場見学会



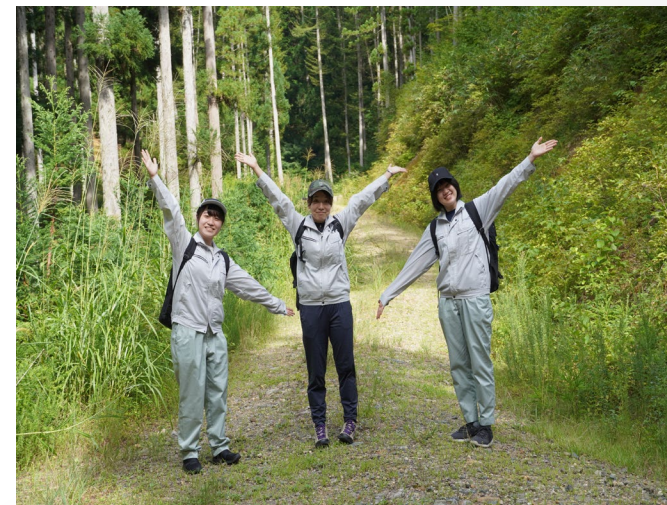
欧州型屋根型作業道



令和3年度 8月豪雨災害復旧工事



森林空間利用 森林浴体験





SDGs経営から生まれるイノベーション

建設トップランナー倶楽部が進めた
インフラの町医者



地域インフラ・イノベーションの町医者
—多様性がもたらす革新—

インフラのアーキテクト
(architect)へ





会社の紹介

<http://www.nagase-const.com/>



会社概要

株式会社 長瀬土建
設立 昭和34年9月
代表者 代表取締役 長瀬雅彦
資本金 2,000万円
所在地 岐阜県高山市
事業内容 土木一式工事
とび、土工、コンクリート工事
建築工事、舗装工事
造園工事、管工事
林業経営・森林サービス産業





プロフィール

長瀬 雅彦 (ながせ まさひこ)

生年月日：昭和36年4月23日 岐阜県生まれ

最終学歴：東海大学 工学部 土木工学科卒 昭和58年3月

略歴 昭和58年4月 (株)吉井測量設計社入社
 昭和62年4月 株式会社 長瀬土建入社
 平成14年5月 代表取締役 就任
 平成22年1月 たかやま林業・建設業協同組合
 専務理事就任

業務資格関連

1級建築施工管理技士
 1級土木施工管理技士
 1級造園施工管理技士
 1級舗装施工管理技術者
 測量士
 2級管工事施工管理技士
 浄化槽設備士
 碎石業務管理者
 砂利業務主任者

林業資格関連

林業技士 森林土木 部門
 林業技士 森林環境 部門
 林業技士 森林評価 部門(森林評価士)
 林業技士 林業経営 部門
 林業技士 林産 部門
 林業技士 林業機械 部門
 林業技士 森林総合監理 部門
 林業技士 作業道作設 部門(作業道作設士)
 林業専用道技術者

ISO関連

JRCA 品質マネジメントシステム審査員補
 JRCA 情報セキュリティマネジメントシステム審査員補
 JRCA 環境マネジメントシステム審査員補
 IRCA 労働安全衛生マネジメントシステム審査員補
 SEMSAR エネルギーマネジメントシステム審査員補
 SGEN 森林認証(日林協)審査員
 事業継続初級管理者
 環境サイトアセッサー(土壌・水質汚染)
 エコステージ評価員
 ビオトープアドバイザー
 自然再生士
 森林セラピスト
 防災士
 公害防止管理者



中部縦貫自動車道 新張地内



野麦 山腹工事



令和2年7月豪雨災害 災害復旧工事

1 貧困を
なくそう



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



令和2年7月豪雨災害

小坂町門坂3R開通大作戦

「Rail・Road・River」

～ 応急復旧 39日の戦い ～

復旧作業にあたっては
地元建設業界の、24時間体制で実施
実質22日間で完了
作業員

のべ約2,300人
(ピーク時120名)

建設機械

のべ3,600台

主要資機材

コンクリート 約9,400m³

大型土嚢 約 5,200袋

土砂搬入量 約20,000m³



一般社団法人 飛騨三協防災対策協議会
高山支部





令和2年7月8日

令和2年7月豪雨災害から1年 国道41号小坂町門坂



令和3年7月25日現在 28日午前7時開通



NAGASE 株式会社 長瀬土建のSDGs宣言

株式会社 長瀬土建は、地域密着の建設事業として地域社会との連携を図り、経営理念の基本の工程、工期、工費を管理徹底し、社会的責任と公共性を常に自覚し、飛騨の豊かな地域社会、地球環境が将来にわたって維持されるよう、全社員が一体となって品質の顧客満足、環境の保全、労働安全衛生の「リスクゼロ」活動に取り組む。又、関係する全ての要員の安全を優先し、良好なコミュニケーション、継続的改善を常に心がけ、インフラの町医者からアーキテクトとして様々な社会貢献を確実に果たします。

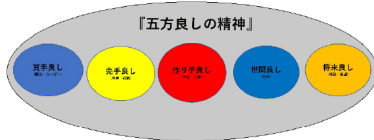
これはSDGsのあらゆる局面に関与し、いつも安心・安全 快適な住まいづくり、未来につなぐ街づくりを推進します。我々、株式会社長瀬土建は、社員一人一人が本気でSDGsを企業行動につなげ、お客様や地域から信頼され、持続可能な地域社会の創造に貢献できるように尽力していきます。

SDGsのみならず、パートナーシップというつながりは、一番重要なポイントだと考えています。人は一人では生きていくことはできません。ましてや企業も同じこと。

- 様々なつながりがあることで、豊かな社会が形成されていると考えています。
- 建設会社である私たちは、工事において周りの自然に目を向けることで、**未来につながる豊かな自然を守り、育んだり**することができる。
- 私たちの独自技術を活用することで、**そこに暮らす人々の安心・安全で快適な暮らしを守**ることができる。
- 会社として様々な制度を設計・実行することで、**社員一人一人が誇りをもって働く**ことができる。
- 自然を守り、技術を活用するなど企業活動を進めるうえで、**関係する官公庁をはじめ企業、地域の方々**とコミュニケーションが生まれ、「**パートナーシップ**」が**つながっていく**。
- 自らの行動が **学ぶ、教える、築く、伝える**為の教育をパートナーシップとして実践します。

長瀬土建は、SDGsを会社の社会貢献の一つとして考えるのではなく『**確実な企業活動を行うこと=SDGsの目標達成**』と考えています。

企業は社会に貢献し、発展する事が基本。その基本から外れないよう時流にタイミング良く柔軟に、誰もが幸せになるように人間形成を図ることが大切です。得た教訓、技術を研鑽しながら、後世に伝えるようにして努力します。



今後の未来に必要なことは何かを常に考え、『五方良しの精神』で地域から必要とされ、今できることを実践する。

それが長瀬土建のSDGsです。

2020年11月20日 制定
2023年2月14日 改定

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsの理念とその達成に向けた取組は社会において主流化が進んでおり、世界中の主要な企業がSDGsに積極的に取り組むことを宣言しています。

株式会社長瀬土建 SDGs宣言



後の未来に必要なことは何かを常に考え『**五方良しの精神**』で地域から必要とされ今できることを実践するそれが**長瀬土建のSDGs**です

企業は社会に貢献し、発展する事が基本。その基本から外れないよう時流にタイミング良く柔軟に、誰もが幸せになるように人間形成を図ることが大切です。得た教訓、技術を研鑽しながら、後世に伝えるようにして努力します。



株式会社長瀬土建は社員一人一人が本気でSDGsを企業行動につなげ、お客様や地域から信頼され、持続可能な地域社会の創造に貢献できるように尽力していきます。

- 私たちの会社は
- 岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業
 - 健康経営優良法人2022(中小企業法人部門)
 - ぎふ人材育成リーディング(ゴールド)企業
 - 飛騨高山SDGsパートナー「1号」

★詳しくはHPをご覧ください



長瀬土建のSDGsの推進に向けた課題と取り組み方針



課題	取り組み方針	SDGs	これまでの具体的な取り組み事例
地球環境・地域環境の保全	建設会社である私たちは工事において周りの自然に目を向けることで、未来につながる豊かな自然を守り、育みに貢献します	1 貧困をなくそう 2 気候変動に具体的な対策を 7 持続可能なエネルギー 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを保ち増進	大雨、洪水・大雪、地震等の緊急災害時、被災地域へのボランティア活動に参加、寄付活動 食品ロスを推進 廃棄物の適正処理、森林整備、ISO14001 認証、第1回JABAアワード環境マネジメント部門表彰企業、脱炭素への取り組み 排出ガス対策型重機機械の使用、国産材、地域材利用、脱炭素への取り組み アイドリングストップ運動、バイオマスエネルギーの利用 豊かな海の再生を実現するため、フォレストサポーターズ活動に積極的に参加 脱炭素への取り組み ISO14001 認証、地域の閑雑材を有効利用、グリーンインフラの推進、脱炭素への取り組み
地域社会の繁栄	私たちの独自技術を活用することで、そこに暮らす人々の安心・安全で快適な暮らしを守ることに取り組んでいます	4 働きがいと経済成長 9 産業、科学、技術イノベーション 11 持続可能な住みやすさ	社内優良工事表彰制度、ぎふ建設人材育成リーディング企業に認定、建設キャリアアップシステムの推進し、魅力ある建設現場づくり、現場長学会、勉強会の開催 ISO9001 品質マネジメントシステムに基づき、施工品質と顧客満足度の向上、DXの採用、ICT生産性の推進 岐阜県建設業協会事業継続マネジメント認定、災害ボランティアの届出、こども110番運動
地域経済の持続的な発展	会社として様々な制度を設計・実行することで、社員一人一人が誇りをもって働くことができ、地域経済の持続的な発展に貢献します	3 健康とウェルビーイング 5 ジェンダー平等 6 清潔な水とトイレの健全な供給 8 豊かで持続可能な雇用と経済成長 10 公平な社会と経済成長	健康経営優良法人として、社内の健康目標を定め、快適な職場づくり、メンタルヘルスへの対応 定期的なミーティング、資格取得をサポート、定年後の再雇用・嘱託就業 工事現場で活躍する女性に、快適に使用できる女性専用のトイレの設置を推進、地域への井戸でも水の供給 新はつらつ職場づくり宣言事業、ワークライフバランスエクセレント企業 高齢者の雇用、鳥獣害の雇用
パートナーシップ	自然を守り、技術を活用するなど企業活動を進めるうえで、関係する官公庁をはじめ企業、地域の方々とコミュニケーションが生まれ、「パートナーシップ」が つながっていく ます	16 平和と公正 17 パートナーシップ	二重チェック防止モデル企業、交通安全協会による安全指導の協力、不当要求防止責任者選任事業所 関係機関との災害又は重大事故の応急対策に関する協定、地域や社会福祉の活動、地域のまちづくり活動に積極的に参加

SDGsに貢献する土木建設業



- ・経済的社会的支援
- ・人事評価と適正な賃金の支払い



- ・寄付活動
- ・防災備蓄品の寄贈
- ・食料の持続可能な生産



- ・快適な職場づくり
- ・社員全員の健康診断受診
- ・ISO 45001運用



- ・建設キャリアアップシステム
- ・社員教育
- ・講演会・セミナー開催



- ・土木女子
- ・技術者の育成推進
- ・ワーク・ライフ・ハーモニー



- ・水源涵養
- ・快適トイレの設置



- ・廃棄物の適正処理
- ・ISO14001運用
- ・カーボンニュートラル実現



- ・仕事と家庭の両立支援
- ・働き方改革、健康経営
- ・ワーク・ライフ・ハーモニー

道路新設工事
(高規格道路)

河川・砂防工事
(災害復旧)

道路維持補修



林業土木
(治山・林道)

舗装工事

鋼構造物工

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



- ・様々な災害協定等とフォレストサポーターズ活動の推進
- ・企業、個人、行政との様々な連携



- ・インフラの強靱化
- ・ICT化施工
- ・ISO 9001運用



- ・継続的に働ける職場環境
- ・定年延長
- ・高齢者・障害者の雇用



- ・BCP活動・地方創生
- ・災害復旧
- ・グリーンインフラの拡大



- ・排出ガス対策型建設機械促進
- ・県産材の利用促進



- ・環境に配慮した機械、車両
- ・災害対策



- ・プラスチック製品の削減
- ・フォレストサポーターズ活動



- ・地産地消による建材確保
- ・グリーンインフラの推進
- ・フォレストサポーターズ活動
- ・生物の多様性



- ・調達における公正な取引
- ・交通安全の確保



100年続く企業への理念共有と人財育成のPDCA

社是 目標

誠意 全力投球できる職場と仕事	工程 綿密な計画と準備
努力 見つけ創り出す工夫と作業	工期 自信のある確実な作業進行
信用 友情と尊敬にみちた信頼感	工費 懐みのあるムダの排除

志を立てて万事の源となす

夢なき者に理想なし

理想なき者に計画なし

計画なき者に実行なし

実行なき者に成功なし

故に、夢なき者に成功なし

地域になくてはならない企業になるために実行する

NAGASE の想い

働く仲間の幸せ『リスペクトプロジェクト宣言』

人の成長こそ企業の価値
安心して仕事ができる 家族も安心できる企業環境

地域の安心・安全の為の取組みと地域貢献活動
地域あってこそ企業が活動できる。信頼される企業にならなくてはならない
災害支援活動は何を持っても優先に

品質・環境・安全に取り組む姿勢
良い仕事をして住民に喜んで欲しい、ありがとうと言って欲しい。
少しでも幸せに生活できる家族を増やしたい
生きがいとやる気を持った仕事と職場環境の形成
ODSCを必ずやり遂げ成功する。

仕事の目的 『五方良しの精神』

顧客の喜びを自分の喜びに
私達が皆さんの税金から仕事も対価も頂いている

いい加減な事は出来ない

品質・環境・安全に取り組む姿勢

どれも疎かにすることなく、良い仕事をして企業は感謝され、存続/なくてはならない

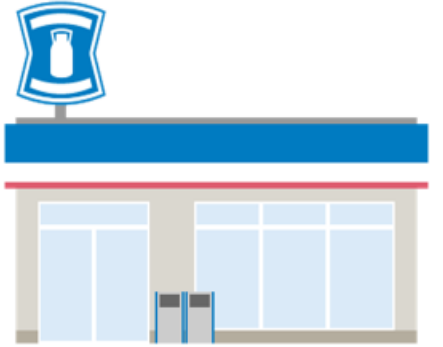
人財育成

大切な命を預かり、危険な仕事も完璧しなければならぬ責任がある。
その為には大切な人を守り、しっかり育てなければならぬ。企業の財産として



私の想いは

どっち？



折角なら地域になくてはならない必要とされる企業になりたい

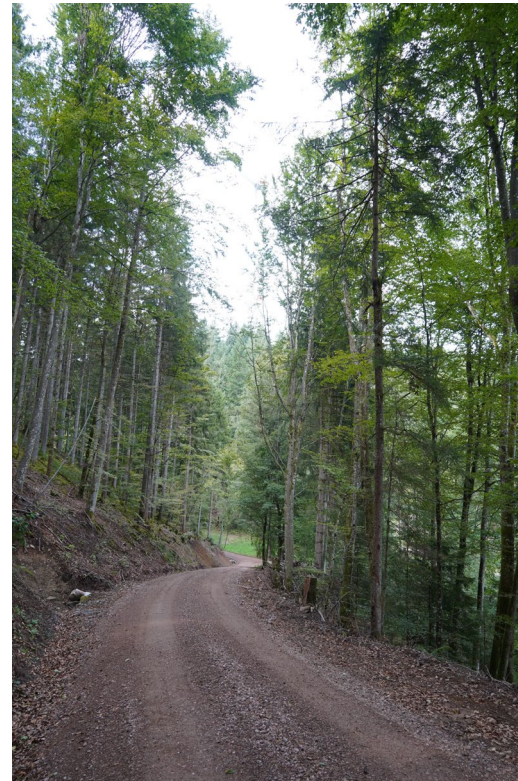
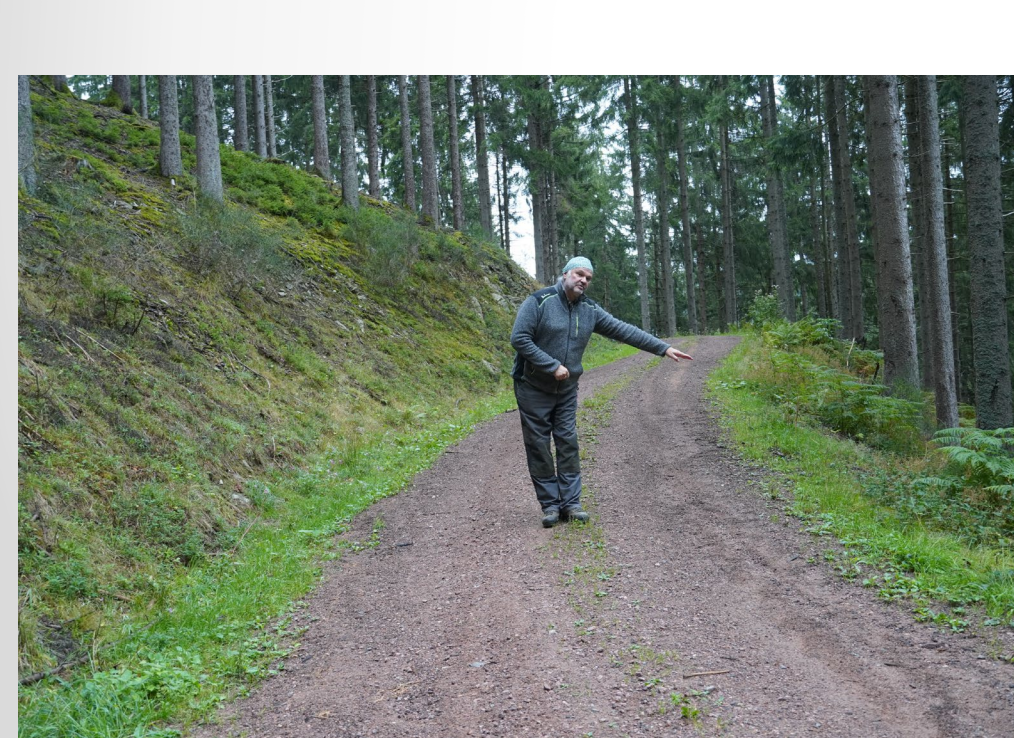
長瀬土建さんよりコンビニが大切
なんて絶対に言われぬように頑張りたい！



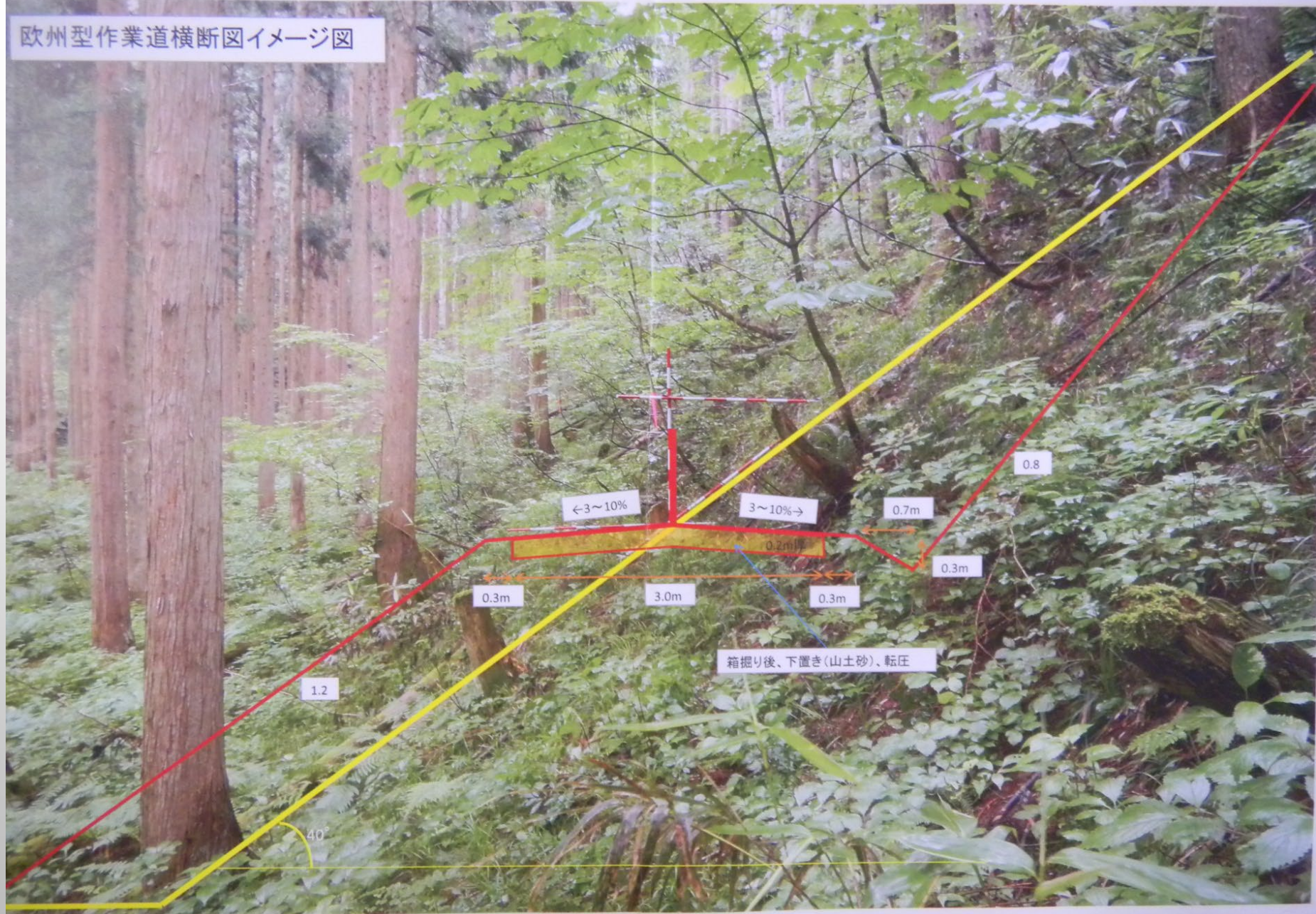
ドイツフォレスターの考え



日本にある人工林、単層林をどのようにして**樹種構成豊かな恒続林**に仕立ててゆく為に**理想の道**が必要



欧州型作業道横断図イメージ図









「経年劣化」から「経年美化®」へ

2011年10月

2015年9月

2020年9月



作業道を作り年々使用しつつ、樹木も成長し、自然が復元されて姿に「経年美化」という言葉が浮かびました。この10年間側溝の土砂を取り除く、枝を撤去するしかメンテナンスは必要ありません。台風にも、大雨にも左右されない壊れない道は自然の森林の環境に近づいています。そして時を経過した道脇には、天然更新する樹種が育っています。間伐という作業の中に光のコントロールをし、雨水をマネジメントすることで、自然と共生するグリーンインフラは日々進化し、時を経て、美しさを増していきます。

「年を増す度に森を豊かにし、将来に引き継いでいくことを、地域みなさんとコミュニケーションをとりながら続けていく仕組みを残していきたい」という想い。森林業は何百年先、何世代先の子ども達に森を繋ぐ仕事。自然と向き合うその姿勢は、SDGsの実践そのものであると感じています。

グリーンインフラの施工

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



2020年7月、累計雨量1400ミリを超える豪雨が高山を襲い、多くの道が崩壊しました(令和2年7月豪雨)しかし、施工した道は崩れないどころか、豪雨の翌日に撮影した作業道の写真を見て、その美しさに驚きと共に感動でした。

11 住み続けられる
まちづくりを



14 海の豊かさを
守ろう



15 陸の豊かさも
守ろう



今年の令和2年7月末からの大豪雨は経験したことのない豪雨なりになりました。それなのになぜ被災しなかったのか。それは水を集中させず、コントロールして分散させた事です。

道づくりはプロセスとし、計画にはなるべく時間をかけて踏査し、水のリスクのないように道を付ける事が**安全性**、**生産性**、**採算性**を高めることとなります。日本の森林はひだも多く、川や谷や沢も多いので、どのように対応するかが非常に重要なポイントとなります。そしてグリーンインフラとして今後のメンテナンスも考え、現地の発生材料を有効に利用し、コスト低減し、生態系にも配慮する施工が求められます。



『ドイツの林業を学ぶということ』
 日本とドイツとは違う
 地形が地質が土壌が雨量が生態系が、法律が制度が、
 しくみがお役所が・・・
 ではなく



なぜ そうするのか
 そうしたらどうなるのか
 なぜ必要なのか

それなら実証してから評価しませんか。
 そうすればマネではなく本当の意味ががわかるはず。
 この思想を持つことが大切

新しい考え方を取り入れる事より
 古い考えを捨てる事の方が難しい

出来ない理由を一生懸命見つけ並べる
 のではなく

今出来る事は何があるのか。
 今何をすれば良いのか。

少しでもポジティブに考えるべき

寺社建築の第一人者と呼ばれる小川三夫棟梁の言葉

法輪寺三重塔、薬師寺(三重塔)の再建に副棟梁として活躍

次の世代の人のためにうそ偽りのあるものを残してはいけない。下手は下手なりでいい。うそ偽りはないと自らに言い聞かせ、精一杯やっておけば、何百年か先に建物を解体した時、「当時の大工」の思い、考えを読み取ってくれる人が必ず現れる。本物とはいつの世でも変わることなく心を打つものだ。その時々精一杯のことをしておけばいい。





3 すべての人に
健康と福祉を

8 働きがいも
経済成長も

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう

11 住み続けられる
まちづくりを

成果が一生残る。
社会の基盤を支える、誇りを持てる仕事

森田菜々子



2022
健康経営優良法人
Health and productivity

NAGASE 株式会社 長瀬土建

<http://www.nagase-const.com/index.html>

健康経営優良法人 中規模認定企業
岐阜ワーク・ライフ・バランスエクセレント企業



新たな人材を募集しています。
本当にやりたい事、やってみたい事、取得したい資格、記憶に残るような物を作りたい、ドローンを自在に操作したい。
自分を試してみたい。挑戦してみたい方。
是非 働きやすい環境で 共に働いてみませんか！
女性也大歓迎です！！

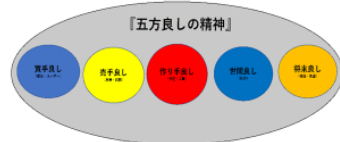


NAGASE 株式会社 長瀬土建のSDGs宣言

株式会社長瀬土建は社員一人一人が本気でSDGsを企業行動につなげ、お客様や地域から信頼され、持続可能な地域社会の創造に貢献できるように尽力していきます。

SDGsのみならず、パートナーシップというつながりは一番重要なポイントだと考えています。人は一人では生きていくことはできません。ましてや企業も同じこと。様々な繋がりがあることで、豊かな社会が形成が生まれていきます。

- 私たちは工事において周りの自然に目を向け、未来につながる豊かな自然を守り、育む。 2030年迄 残り9年
- 私たち技術を活用し、そこに暮らす人々の安心・安全で快適な暮らしを守る。
- 社員一人一人が誇りをもって働く。
- 自然を守り、企業行動を進めるうえで、関係する官公庁をはじめ企業、地域の皆様と確実なコミュニケーションが生まれ、「パートナーシップ」に繋がる。



企業は社会に貢献し、発展する事が基本。
その基本から外れないよう時流にタイミング良く柔軟に、誰もが幸せになるよう人間形成を図ることが大切です。
得た教訓、技術を研鑽しながら、後世に伝えるようにして努力します。

後の未来に必要なことは何かを常に考え、『五方良しの精神』で地域から必要とされ、今できることを実践する。
それが長瀬土建のSDGsです。



今やどんな業種でも ICTの時代に！ 若いクリエイティブな元気な人材が必要です。新しい何かをやりたい だから格好いい！

